

魚沼澄惣うまぬま じやうさむらい五郎 國史學者、文學博士。明治二十一年十一月十七日  
兵庫縣神戸生れ、昭和二十四年二月二十六日没（一八九一—一九五九）。筆名  
魚沼學士、魚沼總五郎。大正二年東京帝國大學文科大學卒。十二年大  
阪府立女子專門學校教授、のち龍谷大學、廣島大學、關西大學教授歴  
任。『の問近畿かた、中國地方史論纂』關與。中世史專攻。

著書に『新又明の源流—日本洋學の發達』（大正二年九月—二十八日赤  
城正藏刊「ヤカギ業書」）、『修學旅行、京都史蹟案内』西田直二郎共編、  
大正四年十一月十日京都帝國大學學友會、京都・寶文館）、『古社寺  
の研究』（昭和六年六月五日京都・星野書店）、『大阪府郷土史の研究  
』（昭和十年二月—二十八日大阪・大阪府思想問題研究會「思想叢  
書」）、『大阪文化史研究』（編、昭和十八年六月五日京都・星野書  
店）、『手紙の歴史』（昭和十八年八月—二十五日全國書房）、『日本  
中世史の研究』（昭和十九年一月—二十五日京都・星野書店）、『攝津  
多田院と多田莊』（昭和十九年二月—二十日大阪・京阪神急行電鐵株式  
會社）、『皇室と大阪』（合著—座談會・市民司振興謀論、昭和十九  
年十月—二十八日大阪・大阪市役所）、『奈良の上代文化』（合著・橋  
本凝胤編、昭和十九年十一月十五日大阪・全國書房）、『歴史的反省』  
（他七名合著・青丹會編、昭和二十二年一月十五日京都・永田文書  
堂）等。

